

中枢神経疾患作業療法治療学演習

【科目名】 中枢神経疾患作業療法治療学演習		【担当教員】 北上 守俊							
【授業区分】 専門分野 (作業療法治療学)		【授業コード】 4-23-0885-0-1		(メールアドレス) kitakami@nur05.onmicrosoft.com					
【開講時期】 3 年次 通年		【選択必修】 必修		(オフィスアワー) 木曜日 13:00～18:00					
【単位数】 2		【コマ数】 30							
【注意事項】 (受講者に関わる情報・履修条件) 生理学、解剖学、運動学、臨床医学の知識を整理および修得しておくこと。 作業療法評価学の知識および技能を再学習しておくこと。 (受講のルールに関わる情報・予備知識) 実技演習できる服装で参加すること。学生同士協力し、技能修得に努めること。									
【講義概要】 (目的) 脳血管障害、脊髄損傷などの中枢神経障害に対する適切な作業療法技術の習熟を目的とする。 (方法) 専任教員の指導を仰ぎながら中枢神経疾患に対する作業療法技術の演習を行う。									
【一般教育目標(GIO)】 身体機能障害に対する作業療法アプローチの目的と方法を理解する。 身体機能障害の作業療法技術を修得する。 【行動目標(SBO)】 身体機能障害に対する主な作業療法アプローチの目的と方法を説明できる。 身体機能障害に対して、適切な作業療法を選択し、実施できる。									
【教科書・リザーブドブック】 特になし									
【参考書】 ・岩崎テル子編集・『身体機能作業療法学』標準作業療法学 医学書院, 2011 年. ¥4,935 ・長崎重信編集・『身体障害作業療法学 改訂第 2 版』作業療法学 4 ゴールド・マスター・テキスト メジカルレビュー社、2015 年. ¥5,832 ・菅原洋子編集・『身体障害 作業療法治療学 1』作業療法全書 協同医書出版社,2011 年. ¥3,990									
【評価に関わる情報】 (評価の基準・方法) ・成績評価基準は本学学則規定の GPA 制度に従う。 ・試験 70%、レポート 30%の割合で総合的に判定する。									
【達成度評価】		試験	小テ スト	レポート	成果発 表	実技	ポートフォ リオ	参加態 度	合計
総合評価割合		70	0	30	0	0	0	0	100 点
評	取り込む力・知識	70	0	15	0	0	0	0	85

平成 26～28 年度入学者用

価値指標	思考・推論・創造の力	0	0	15	0	0	0	0	15
	コラボレーションとリーダーシップ	0	0	0	0	0	0	0	0
	発表力	0	0	0	0	0	0	0	0
	学修に取り組む姿勢	0	0	0	0	0	0	0	0
【授業日程と内容】									
回数	講義内容	授業の運営方法			学修課題(予習・復習)			時間(分)	
1	検査・評価 (ROM、MMT 等)	実技						60 分	
2	検査・評価 (ROM、MMT 等)	実技						60 分	
3	実技試験								
4	検査・評価 (実技試験を踏まえて内容検討)	実技						60 分	
5	検査・評価 (実技試験を踏まえて内容検討)	実技						60 分	
6	検査・評価 (実技試験を踏まえて内容検討)	実技						60 分	
7	検査・評価 (実技試験を踏まえて内容検討)	実技						60 分	
8	検査・評価 (実技試験を踏まえて内容検討)	実技						60 分	
9	検査・評価 (実技試験を踏まえて内容検討)	実技						60 分	
10	事例検討	講義・実技						60 分	
11	事例検討	講義・実技						60 分	
12	事例検討	講義・実技						60 分	
13	事例検討	講義・実技						60 分	
14	事例検討	講義・実技						60 分	
15	事例検討	講義・実技						60 分	
16	関節可動域①【上肢】(他動運動、自動介助運動、自動運動等)	講義・実技			資料を配布する。			60 分	
17	関節可動域②【上肢】(他動運動、自動介助運動、自動運動等)	講義・実技			習得した実技についてクラスメイト同士で体を使って復習しておく。			60 分	
18	関節可動域③【下肢】(他動運動、自動介助運動、自動運動等)	講義・実技			習得した実技についてクラスメイト同士で体を使って復習しておく。			60 分	
19	関節可動域④【下肢】(他動運動、自動介助運動、自動運動等)	講義・実技			習得した実技についてクラスメイト同士で体を使って復習しておく。			60 分	
20	関節可動域⑤【体幹】(他動運動、自動介助運動、自動運動等)	講義・実技			習得した実技についてクラスメイト同士で体を使って復習しておく。			60 分	
21	関節可動域⑥【体幹】(他動運動、自動介助運動、自動運動等)	講義・実技			習得した実技についてク			60 分	

平成 26～28 年度入学者用

	動、自動運動等)		ラスメイト同士で体を使って復習しておく。	
22	筋力増強①【上肢】(抵抗運動、PNF 等)	講義・実技	資料を配布する。	60 分
23	筋力増強②【下肢】(抵抗運動、PNF 等)	講義・実技	習得した実技についてクラスメイト同士で体を使って復習しておく。	60 分
24	筋力増強③【体幹】(抵抗運動、PNF 等)	講義・実技	習得した実技についてクラスメイト同士で体を使って復習しておく。	60 分
25	協調性 (巧緻動作、両手動作等)	講義・実技	資料を配布する。	60 分
26	バランス① (動的・静的バランス、動的・静的姿勢)	講義・実技	資料を配布する。	60 分
27	バランス② (動的・静的バランス、動的・静的姿勢)	講義・実技	習得した実技についてクラスメイト同士で体を使って復習しておく。	60 分
28	知覚へのアプローチ (感覚入力等)	講義・実技	資料を配布する。	60 分
29	物理療法 (温熱療法、電気療法等)	講義・実技	資料を配布する。	60 分
30	浮腫に対するアプローチ	講義・実技	資料を配布する。	60 分

※授業日・教室は随時学生ポータルサイトにて配信します。

※ここに示す学修課題の時間は、必要とする授業外の学修時間(授業時間の 3 倍)に含むべき時間を示します。